

第5回  
倉敷権利擁護支援フォーラム

# 「ネットワークでまちを拓く」 ーゴミ屋敷、孤立死、セルフ・ネグレクト (自己放任) とどう向き合うかー

近年、社会的な問題となっている孤立死、実はその約8割が生前セルフ・ネグレクトの状態であったという調査結果があることをご存知ですか？本フォーラムでは、セルフ・ネグレクトの状態にある方の実態を把握するとともに、実践事例をとおして支援のあり方を学びます。

基調講演 「セルフ・ネグレクトと孤立死における実態と  
地域支援のあり方について」

講師 帝京大学 教授 岸 恵美子 氏

パネルディスカッション 「セルフ・ネグレクトの支援について」

<パネリスト>

つばさクリニック	院長	中村 幸伸 氏
(同) 正木山福社会	社会福祉士	河合 清志 氏
倉敷市保健所 保健課	保健師	伊藤 直美 氏

<オブザーバー>

帝京大学 教授 岸 恵美子 氏

<コーディネーター>

岡山高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会  
弁護士 竹内 俊一 氏

平成 25 年 9 月 28 日(土)

13:00 ~ 16:30

■場 所:くらしき健康福祉プラザ 5 階 プラザホール

■参加費:無料

■定 員:289 名(定員になり次第締切)

■ 申込先/ 社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課  
倉敷市笹沖 180 TEL: 434-3301 FAX: 434-3357  
e-mail: tiikifukushi@kurashikisyakyo.or.jp

～ 基調講演 岸 恵美子 氏 プロフィール ～

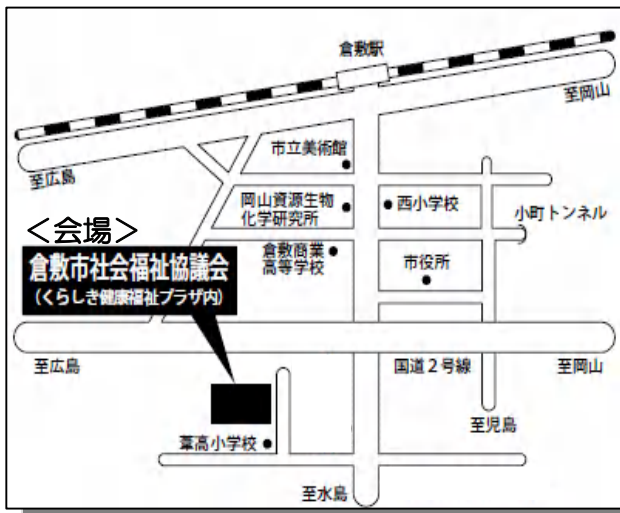
— ■ 略歴 ■ —

東京都生まれ。看護師、保健師。日本赤十字看護大学大学院博士後期課程修了。看護学博士。帝京大学医療技術学部看護学科・帝京大学大学院医療技術学研究科看護学専攻；教授（地域看護学・公衆衛生看護学）。東京都板橋区、北区で16年間保健師として勤務した後、自治医科大学講師、日本赤十字看護大学准教授を経て、2009年より現職。高齢者虐待、セルフ・ネグレクト、孤立死を主に研究。高齢者虐待に関わる看護職の研究会である「看護職のためのエルダーアビュースケア研究会」を主宰。日本高齢者虐待防止学会監事、千代田区高齢者虐待防止推進委員会委員長、足立区環境保全委員会副委員長を務める。

— ■ 著書 ■ —

『ルポ ゴミ屋敷に棲む人々 孤立死を呼ぶ「セルフ・ネグレクト」の実態』（幻冬舎新書）、共著に『実践から学ぶ高齢者虐待の対応と予防』（日本看護協会出版会）、『高齢者ケアと在宅医療』（中央法規）、「虐待対応に必要な保健師の地域づくり」（保健師ジャーナル、2013年3月号、医学書院）、「密室」における“最後の砦”に 高齢者虐待に対して「訪問看護師ができること」（訪問看護と介護、2013年6月号、医学書院）など

- 主催／ 社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会
- 共催／ 倉敷高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会
- 後援／ 倉敷市 岡山県社会福祉協議会 岡山弁護士会 岡山県司法書士会 岡山県行政書士会  
 一般社団法人岡山県社会福祉士会 公益社団法人倉敷市連合医師会  
 倉敷市身体障害者福祉協会連合会 倉敷市精神障がい者家族会連合会 倉敷市手をつなぐ育成会  
 倉敷市中心身障がい施設連絡協議会



※お車の場合、会館の駐車場にとめてください。  
 ※公共交通機関  
 <タクシー>  
 JR倉敷駅から10分ほど。  
 <バス>  
 両備バスJR倉敷駅前より  
 霞橋車庫・吉岡・協同病院方面行  
 「葦高小学校東」下車  
 もしくは倉敷循環線「葦高小正門」下車

(必要事項をご記入の上、このまま送信してください。メールでも可)

2013.9.28 (土)

第5回 倉敷権利擁護支援フォーラム 参加申込書

FAX (086) 434-3357

E-mail:tiikifukushi@kurashikisyakyo.or.jp

団体名

お名前

(団体お申込みの場合は代表者名)

参加人数

名

ご連絡先

TEL :

FAX :

備考

\*参加受付票等の送付はいたしません。当日直接会場にお越しください。